



平成29年7月31日

各 位

会社名 : 株式会社UKCホールディングス
(コード: 3156 東証第一部)
代表者名: 代表取締役社長 福寿 幸男
問合せ先: グループ執行役員
経営企画部門長 大澤 剛
(TEL: 03-3491-6575)

(訂正) 「平成28年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成27年10月30日に開示いたしました「平成28年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 訂正内容と理由

平成29年7月31日に公表いたしました「第8期有価証券報告書の提出、過年度の有価証券報告書及び四半期報告書の訂正、並びに平成29年3月期決算短信の提出、過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



株式会社 UKCホールディングス

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社UKCホールディングス

コード番号 3156 URL http://www.ukcgroup.com/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福寿 幸男

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部門長 (氏名) 大澤 剛 TEL 03-3491-6575

四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日 配当支払開始予定日 平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有(機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	136.487	14.0	△27	—	△209	—	△1,087	—
27年3月期第2四半期	119.675	△23.5	2,478	△21.9	2,836	△8.9	1,777	△0.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △1,455百万円(—%) 27年3月期第2四半期 2,061百万円(△20.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△69.28	—
27年3月期第2四半期	113.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	127,563	52,666	41.0	3,330.95
27年3月期	129,859	54,445	41.6	3,442.39

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 52,286百万円 27年3月期 54,037百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
28年3月期	—	25.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	18.2	6,500	70.3	6,300	40.9	4,200	84.5	267.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	15,700,021株	27年3月期	15,700,021株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	2,800株	27年3月期	2,491株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	15,697,348株	27年3月期2Q	15,698,138株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明資料の入手方法について）

四半期決算説明資料は当社ホームページに掲載いたします。なお、当社は、平成27年11月25日（水）に機関投資家、証券アナリスト向けに説明会を実施する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益、雇用情勢、設備投資の改善などによりおおむね緩やかな回復基調が続きました。その一方で、中国をはじめとするアジア新興国の経済の減速やギリシャ問題等が、世界経済の下振れリスク、日本の景気を押し下げるリスクとなっております。

当社グループが属しておりますエレクトロニクス業界におきましては、その牽引役をスマートフォンに依存する傾向が続いていますが、足下では中国のスマートフォン市場の成長が鈍化しています。その一方で、自動車分野では、電子技術の搭載による情報化や自動化の潮流が顕著であり、市場の拡大が期待されます。

このような状況の下、当社グループは、ソニー製の半導体・電子部品事業を軸とし、自社工場におけるEMS（電子機器受託製造サービス）等の高付加価値事業の拡大、取扱い製品の拡張、外部提携も含めた新規事業の創出に引き続き注力してまいりましたが、連結子会社であるUKC ELECTRONICS(H.K.)CO.,LTD.（以下、UKC香港という）における貸倒引当金計上等により、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,364億87百万円（前年同期比14.0%増）、営業損失は27百万円（前年同期は24億78百万円の利益）、経常損失は2億9百万円（前年同期は28億36百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は10億87百万円（前年同期は17億77百万円の利益）となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

・半導体及び電子部品事業

半導体及び電子部品事業におきましては、主に海外のスマートフォン向け製品の販売が回復したことにより増収となりました。その一方で、UKC香港における貸倒引当金計上等により、セグメント利益は減益となりました。

以上の結果、売上高は1,285億6百万円（前年同期比14.8%増）、セグメント利益は75百万円（前年同期比96.9%減）となりました。

・電子機器事業

電子機器事業におきましては、業務用電子機器の顧客需要の回復により増収となりましたが、高粗利率のソフトウェア事業の不振に伴いセグメント利益は赤字となりました。

以上の結果、売上高は75億7百万円（前年同期比8.7%増）、セグメント損失は31百万円（前年同期は37百万円の利益）となりました。

・システム機器事業

非接触ICカード関連事業におきましては、電子マネー関連ビジネスが引き続き好調に推移し、売上は伸長しました。その一方で、半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス事業におきましては、売上は前年並みとなりました。セグメント利益は、先行投資等により販売費及び一般管理費が増加したことに伴い、減益となりました。

以上の結果、売上高は14億40百万円（前年同期比8.5%増）、セグメント利益は32百万円（前年同期比71.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して22億95百万円減少し、1,275億63百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少42億73百万円、受取手形及び売掛金の増加38億76百万円、たな卸資産の増加1億63百万円、貸倒引当金の増加33億9百万円、その他流動資産の増加16億89百万円及び投資有価証券の減少3億4百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して5億15百万円減少し、748億97百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少30億54百万円、短期借入金の増加45億26百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加20億56百万円、未払法人税等の減少4億96百万円、その他流動負債の減少3億39百万円及び長期借入金の減少31億1百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して17億79百万円減少し、526億66百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失10億87百万円、利益剰余金からの配当3億13百万円、為替換算調整勘定の減少1億50百万円を主因としたその他の包括利益累計額の変動額3億48百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、71億63百万円(前年同期は17億60百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失(2億9百万円)、売上債権の増加(44億3百万円)、たな卸資産の増加(2億79百万円)、仕入債務の減少(25億15百万円)、貸倒引当金の増加(33億70百万円)及び法人税等の支払額(13億17百万円)によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、3億35百万円(前年同期は5億36百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出(2億29百万円)、定期預金の払戻による収入(12億16百万円)と預入による支出(6億円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、31億89百万円(前年同期は31億4百万円の獲得)となりました。これは主に、運転資金のための短期借入金の純増加(45億76百万円)、長期借入金の返済による支出(10億65百万円)及び配当金の支払額(3億13百万円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月8日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示）

（会計方針の変更）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,542	23,268
受取手形及び売掛金	71,857	75,734
商品及び製品	17,716	17,885
仕掛品	479	645
原材料及び貯蔵品	786	614
その他	5,609	7,299
貸倒引当金	<u>△2,188</u>	<u>△5,594</u>
流動資産合計	<u>121,803</u>	<u>119,853</u>
固定資産		
有形固定資産	2,441	2,420
無形固定資産	385	381
投資その他の資産		
投資有価証券	4,159	3,854
その他	2,456	2,344
貸倒引当金	<u>△1,387</u>	<u>△1,290</u>
投資その他の資産合計	<u>5,229</u>	<u>4,908</u>
固定資産合計	<u>8,055</u>	<u>7,710</u>
資産合計	<u>129,859</u>	<u>127,563</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,563	40,508
短期借入金	18,617	23,144
1年内返済予定の長期借入金	970	3,027
未払法人税等	1,035	538
賞与引当金	387	414
その他	2,747	2,407
流動負債合計	<u>67,322</u>	<u>70,041</u>
固定負債		
長期借入金	7,104	4,003
退職給付に係る負債	299	287
役員退職慰労引当金	35	36
その他	651	528
固定負債合計	<u>8,091</u>	<u>4,855</u>
負債合計	<u>75,413</u>	<u>74,897</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,383	4,383
資本剰余金	6,342	6,342
利益剰余金	<u>39,513</u>	<u>38,111</u>
自己株式	△3	△4
株主資本合計	<u>50,235</u>	<u>48,833</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	894	697
為替換算調整勘定	<u>2,881</u>	<u>2,730</u>
退職給付に係る調整累計額	25	25
その他の包括利益累計額合計	<u>3,801</u>	<u>3,453</u>
非支配株主持分	408	379
純資産合計	<u>54,445</u>	<u>52,666</u>
負債純資産合計	<u>129,859</u>	<u>127,563</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	119,675	136,487
売上原価	111,479	127,442
売上総利益	8,196	9,044
販売費及び一般管理費	5,718	9,072
営業利益又は営業損失(△)	2,478	△27
営業外収益		
受取利息	45	44
受取配当金	22	16
仕入割引	3	3
為替差益	334	—
その他	122	44
営業外収益合計	529	108
営業外費用		
支払利息	137	147
売上債権売却損	0	1
為替差損	—	111
その他	32	29
営業外費用合計	170	289
経常利益又は経常損失(△)	2,836	△209
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産処分損	0	—
固定資産売却損	0	—
会員権評価損	3	—
会員権売却損	7	—
その他	2	—
特別損失合計	14	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,822	△209
法人税等	1,028	897
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,793	△1,106
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	15	△19
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,777	△1,087

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,793	<u>△1,106</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81	△197
為替換算調整勘定	140	<u>△150</u>
退職給付に係る調整額	46	△0
その他の包括利益合計	268	<u>△348</u>
四半期包括利益	2,061	<u>△1,455</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,045	<u>△1,435</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	15	△19

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,822	△209
減価償却費	316	278
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△167	△12
貸倒引当金の増減額(△は減少)	445	3,370
売上債権の増減額(△は増加)	7,191	△4,403
たな卸資産の増減額(△は増加)	△662	△279
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,925	△2,515
その他	△2,179	△1,973
小計	3,842	△5,744
利息及び配当金の受取額	68	60
利息の支払額	△137	△161
法人税等の支払額	△2,012	△1,317
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,760	△7,163
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△189	△229
有形固定資産の売却による収入	7	20
投資有価証券の取得による支出	△297	△3
定期預金の預入による支出	△600	△600
定期預金の払戻による収入	600	1,216
その他	△57	△68
投資活動によるキャッシュ・フロー	△536	335
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,690	4,576
長期借入れによる収入	1,030	—
長期借入金の返済による支出	△1,221	△1,065
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△313	△313
非支配株主への配当金の支払額	△20	△10
その他	△59	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,104	3,189
現金及び現金同等物に係る換算差額	△91	△34
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,237	△3,673
現金及び現金同等物の期首残高	15,829	26,141
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,066	22,468

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	半導体及び 電子部品	電子機器	システム機 器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	111,965	6,383	1,326	119,675	—	119,675
セグメント間の内部売 上高又は振替高	12	524	—	537	△537	—
計	111,977	6,908	1,326	120,213	△537	119,675
セグメント利益	2,438	37	114	2,589	△111	2,478

(注) 1. セグメント利益の調整額△111百万円には、セグメント間消去取引△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△110百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性がないため記載を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	半導体及び 電子部品	電子機器	システム機 器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	<u>128,461</u>	6,755	1,269	<u>136,487</u>	—	<u>136,487</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	44	751	170	967	△967	—
計	<u>128,506</u>	7,507	1,440	<u>137,454</u>	△967	<u>136,487</u>
セグメント利益又は損失(△)	<u>75</u>	△31	32	<u>76</u>	△104	<u>△27</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△104百万円には、セグメント間消去取引△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△103百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は平成27年4月1日付で、株式会社UKCエレクトロニクス（現 株式会社UKCテクノソリューション）の半導体及び電子部品事業を吸収分割の手法により承継いたしました。

当社はこれまで純粋持株会社として、当社グループの事業活動を支配・管理することを事業目的としておりましたが、当該吸収分割により半導体及び電子部品事業を承継したことに伴い、第1四半期連結会計期間より「半導体及び電子部品事業」に帰属しております。これにより、従来「調整額」に含めていた当社が連結子会社から受け取る業務受託収入及び全社費用の一部を、「半導体及び電子部品事業」に含めております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性がないため記載を省略しております。